

大学院 GP プロジェクト 「正課外活動の充実による大学院教育の実質化」

神戸大学大学院 人間発達環境学研究所

プロジェクトの目的

このプロジェクトは、専門能力の醸成を軸とした大学院の正課程の目標と連動して、正課外の活動に組み込まれた教育機能を活性化させようとするものです。言い換えれば、正課教育と正課外教育（インフォーマルエデュケーション）を連結させて、「**ヒューマンコミュニティ創成マインド**を醸成すること」を目標としています。また、一定の活動をおこなった大学院生に対して、履修証明を与える仕組みの構築を目指していきます。

プロジェクトの達成に向けて

◎ヒューマンコミュニティ創成マインド形成支援プログラムの開発・推進
プロジェクトの達成のために、専攻や履修コースを超えた「**ヒューマンコミュニティ創成マインド形成支援プログラム**」を開発します。

これは、三つの正課外活動のフェーズである「学内外の実践活動」「学術活動」「委員会活動」に、大学院生が継続的・主体的にかかわるプログラムです。大学院生が、学年も専攻も異なる多様な「仲間」とともに、地域社会のステイクホルダーと協働して、現実の問題解決に貢献するプロセスを支援します。参加、運営・企画、総括、指導・監督といった役割の遂行を通じて、新しいタイプの研究者・実践者が育つことを期待しています。

◎ヒューマンコミュニティ創成マインド形成支援プログラムの特徴

- 学校・NPO・企業と協働してプログラムを開発します。
- このプログラムの修了者には、学位とは別に履修証明を授与します。
(Practitioner Certificate in Human Community Development)
- 大学院生の主体性、自由を損なわないように配慮します。

推進体制

◎実践活動支援グループ

子育て支援、高齢者支援、海外ボランティア活動支援等の実践活動支援を行います。

◎学術活動支援グループ

アクションリサーチ支援、学会発表支援等の学術活動支援を行います。

◎委員会活動支援グループ

インターンシップ委員会支援等の研究科内の様々な委員会活動支援を行います。

◎履修証明ワーキンググループ

「ヒューマンコミュニティ創成実践家」としての資質獲得を公的に認定・保証するための履修証明の制度の検討を行います。

◎ヒューマンコミュニティ創成活動委員会

教員と院生のコラボによって事業を企画・調整します。

◎尺度開発ワーキンググループ

「ヒューマンコミュニティ創成マインド」醸成のプロセスを評価するための尺度の開発や大学院生の自己評価の検討を行います。

◎外部評価支援グループ

外部評価のための環境を整えます。

大学院生へのメッセージ

大学院 GP として採択された際にポイントとなったのは、「阪神間の多様な市民活動・地域活動のなかで院生が育つ」ということです。アカデミズム空間での研鑽だけではなく、地域社会のなかで、地域社会の動きと共に、地域の人たちといっしょに、学問をさらに研ぎ澄ますことの重要性を謳ったことが、評価されました。積極的に、大学から外に出て、地域(NPO・行政・企業など)の中で、地域の人と共に新しいタイプの研究者・実践者になって下さい。

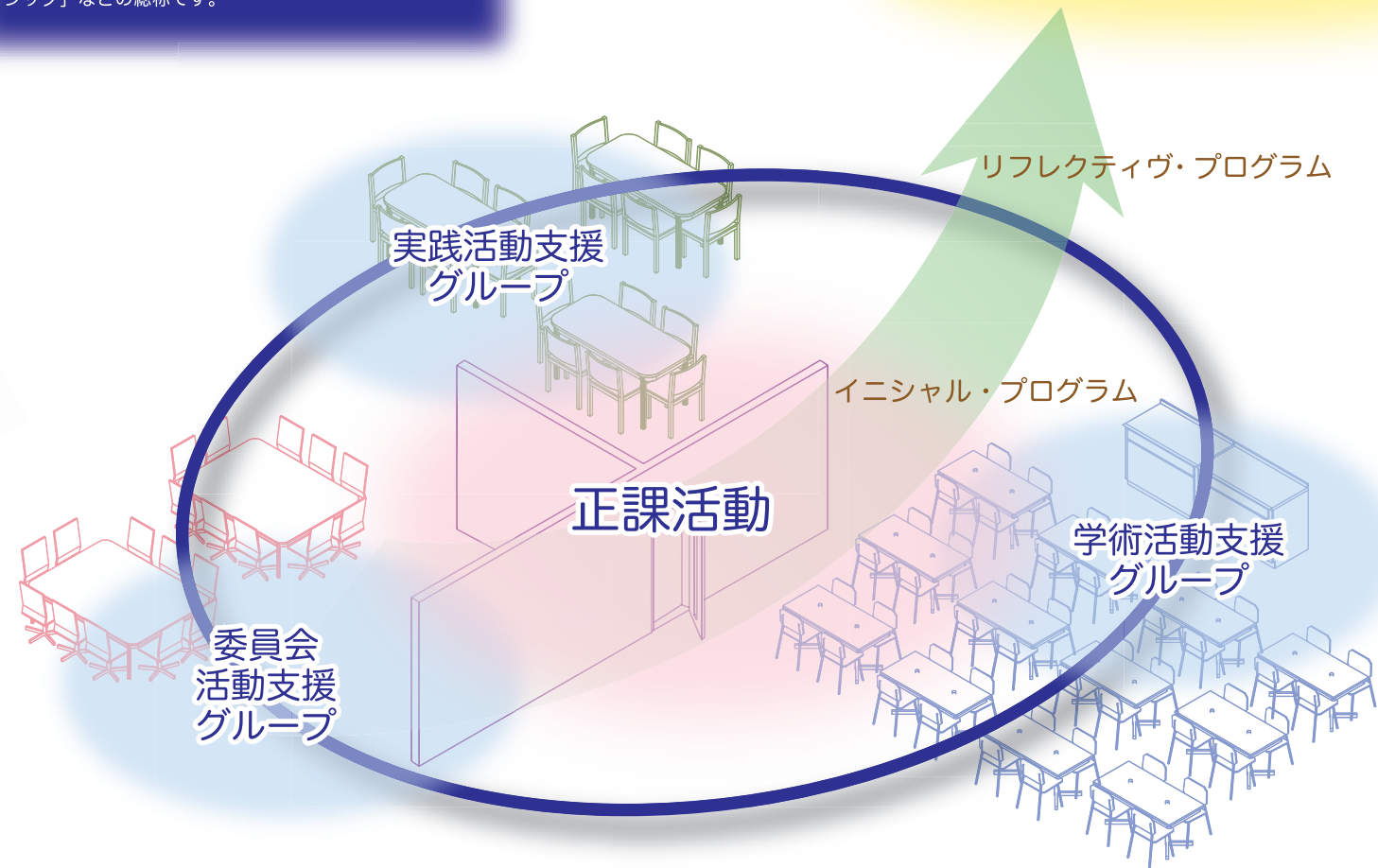
ヒューマンコミュニティ創成マインド形成支援プログラム

「ヒューマンコミュニティ創成マインド」とは？

「ヒューマンコミュニティ創成マインド」とは、「チームワークを大切にする構え」や「コミュニケーション能力」「ネゴシエーション（交渉）能力」「プランニング（企画立案）能力」「マネジメント能力」「リーダーシップ」などの総称です。

ヒューマンコミュニティ創成マインドの形成

ヒューマンコミュニティ創成ネットワークの構築



関連団体・NPOの皆様へ

神戸大学大学院人間発達環境学研究所では、地域・市民・NPO・行政・企業など、多岐にわたる分野の団体の皆様と連携・協働させていただき、「人間の発達」と「市民社会の形成」を有機的に結合させた新研究領域「ヒューマンコミュニティ創成研究」を展開しております。

大学院 GP (大学院教育改革支援プログラム) プロジェクト「正課外活動の充実による大学院教育の実質化」(文部科学省選定、平成 19~21 年度)におきましては、「ヒューマンコミュニティ創成マインド」、すなわち、現実の実践または研究フィールドで期待される構えや力量を醸成するために、大学院生が正課外活動に取り組みやすいような支援システムの構築を目指しております。

大学院生は研究科の課程を修了後、本研究科で得た知的資源を生かして、積極的に社会に貢献することが期待され、さらに、社会との交流、情報発信、研究成果の社会への還元を取

り組むことが要求されます。大学院生が、研究キャリアの比較的早い時期に、このような活動に積極的に関わることで、研究者としての社会貢献活動の必要性を認識することができ、それぞれの専門領域における団体の活動の活性化にもつながると考えます。我々は、大学院生が、市民・NPO・行政・企業などと積極的に連携して、それぞれの分野において独立して活動していくように支援して参ります。

本プロジェクトでは、多くの団体の皆様と連携を密にしながら、それぞれの抱える問題を共有し、それぞれの専門領域における関連団体の活動をさらに活性化させるためのネットワークづくりも目指しております。

関連団体の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いたします。